

## 平成 29 年度 国語 「国語表現基礎」 シラバス

|       |            |     |  |
|-------|------------|-----|--|
| 科目名   | 国語表現基礎     | 学年  | 2・3年   |
| 単位数   | 2単位        | 留意点 | 「国語総合」履修後の選択科目である。表現学習の全課程をとらえて、コミュニケーションの総合的な力を身につける。 |
| 選択・必修 | 選択         |     |  |
| 教科書   | 国語表現(東京書籍) |     |  |

### ◎科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

### ◎評価の観点

| a 関心・意欲・態度  | b 話す・聞く能力                                      | c 書く能力                                     | d 読む能力   | e 知識・理解                                     |
|---|--|--|--|---|
| 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 | 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深めている。 | 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。 |

### ◎授業計画

|                  | 単元・教材名                     | 学習内容  | 評価の観点                 |
|------------------|----------------------------|---|-----------------------|
| 4<br>・<br>5<br>月 | 1 調べる<br>○情報収集の技術          | ○情報収集の技術として、本や新聞、インターネットなどを利用して情報を探し出す方法を学ぶ。<br>○課題分を読み、文献から必要な情報を探し出すポイントについて学ぶ。   | a・d・e<br><br>d・c      |
|                  | 2 取材する<br>○聞き取り取材による情報収集   | ○情報収集の技術として、本や新聞、インターネットなどを利用して情報を探し出す方法を学ぶ。<br>○課題分を読み、文献から必要な情報を探し出すポイントについて学ぶ。   | a・b・e<br><br>d・c      |
| 6<br>・<br>7<br>月 | 3 説明する<br>○本の面白さを紹介する      | ○紹介するとき、必要な事柄は押さえたうえで、いかにその魅力が伝わらえるように伝えることが大切であることを学ぶ。<br>○教材文を読んで本を紹介する例を学ぶ。<br>○「紹介する」とはどのようなことか、より魅力的に「伝える」工夫について考える。 | a・<br><br>d・e<br>a・b・ |
|                  | 4 まとめる<br>○情報を整理して文章にまとめる  | ○実社会ではさまざまな課題について自ら調べ、考えをまとめる力が求められるということを理解し、調べた情報を整理し自分自身の考えをまとめる力を身につける。<br>○教材文を読み、事実を追求する工夫について考える。                  | a・c・e<br><br>d・a      |
| 8<br>・<br>9<br>月 | 5 古典の表現に学ぶ<br>○現代に生きる古典の表現 | ○古典の文章と現代の文章の相違点について考える。<br>○古典の表現と現代語の表現のつながりについて考える。<br>○古典や近現代の詩歌を声に出して読むことで、そこに共通する日本語の表現の特徴を理解する。                    | a<br>a・e<br>a・b       |

|                   |                          |   |                          |
|-------------------|--------------------------|---|--------------------------|
|                   |                          | ○日本語の表現の特徴をうまく生かし、自分でも詩歌を作成する。  | a・c                      |
|                   | 6 広告の表現に学ぶ<br>○広告とレトリック  | ○広告がさまざまなかたちで人の心を引きつけようとしていることに気づき、広告文章の役割を考える。<br>○「キャッチフレーズ」という言い方の示す役割を考える。<br>○教材の広告からどんな印象を持つか、どのような工夫があるかを考え、広告の表現技法について学ぶ。   | a・e<br>a<br>e            |
| 10<br>11<br>月     | 7 話す<br>○メモをもとにしたスピーチ    | ○スピーチのための事前の準備について理解し、本番の体験をとおして、その方法を学ぶ。<br>○他者の興味・関心をひくスピーチの工夫について習熟する。<br>○良い聞き手としてどのような点に注意したらよいかを考え、積極的に話を聞く態度を身につける。  | a・b<br>b・a<br>b・a        |
|                   | 8 発表する<br>○情報を整理して口頭で伝える | ○「説得力を高める発表の工夫（どのような内容を、どのような表現方法で説明するか、どのような発表の流れを考えるか）」という観点で発表の方法を学ぶ。<br>○論理の流れに合わせて発表の筋道を組み立て、視覚化した資料や視聴覚機器の効果的な使い方を考える。  | a・e・b<br>a・e             |
| 12<br>・<br>1<br>月 | 9 討論する<br>○主張の観点と根拠を考える  | ○社会にはさまざまな立場や異なった価値観を持つ多くの人が存在することから、異なる意見が出るときどのように対処し解決していくかを考え、討論の必要性を理解する。<br>○討論する論題の設定、主張が妥当であるかを検討するための観点的設定、観点に基づいた主張の根拠の収集、説得力を高めるための説明順序や方法を学ぶ。<br>○実際の討論を通して問題解決の方法を探り、自身の考えを深める。        | a・<br>e・c<br>a・b         |
|                   | 10 意見文を書く<br>○構成を考える     | ○意見文とはどのようなものかを理解したうえで、教材文を読み筆者の主張に対する意見を書く技術を学ぶ。<br>○筆者の意見を正しく把握する方法として要約のしかたを学ぶ。<br>○論理的に述べるための筋道（文章構成）のさまざまな型を学び、実際の文章がどのような型で構成されているか確かめる。<br>○接続詞の使い方を工夫して教材文に対する意見文を作成し批評し合う。                 | a・e<br>a・e<br>a・d<br>a・c |
| 2<br>・<br>3<br>月  | 11 小論文を書く<br>○「考え方」を考える  | ○小論文は根拠に支えられた意見を述べるものであることを理解し、意見文の学習で学んだことをふまえて「課題型小論文」を書く技術を身につける。<br>○課題文を批判的に検討するための観点として、キーワードや引用されている言葉、筆者の理想などを検討することを学び、自分の考えを広げたり深めたりする。<br>○自分の考えをメモを取りながら整理する「マップ法」を学び自分の考えを深め、主張を明確にする。 | a・c<br>a・e<br>a・e・c      |

### ◎評価の方法

- ・評価は、毎時間の出席状況、授業・課題への取り組み状況（関心・意欲・態度）を中心に、小テスト（知識・理解）、発言や提言（思考・判断）などを総合的に判断して行う。
- ・小テストは、漢字・語句に関するものや、古典学習時には、学習内容に関連したものを実施する予定である。
- ・グループによる調べ学習、発表の授業とレポートの提出を予定している。
- ・グループ学習による発表学習については、担当教員の評価の他、生徒相互による評価も行い、担当教員が実際の評価を決める際の資料として活用する。
- ・なお、年間授業時間数の1/3以上を欠席すると、単位を認定しない。